

生産性向上支援訓練カリキュラム

D. データ活用		表計算ソフト活用		
		データ処理の作業効率を高める！ 表計算ソフトの関数活用 正式名：業務に役立つ表計算ソフトの関数活用		
コースの ねらい	業務の効率化を目指して、事務処理に必要なデータ処理における表計算ソフトの関数の効果的な活用方法を習得する。			
対 象	(Step1) ・表計算ソフトの基本操作ができる方 ・基本的な関数やよく使われる関数を学びたい方			
講 義 内 容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
	1	データの処理	1.0	
		<ul style="list-style-type: none"> (1) 帳票作成のポイント ・作成する帳票を例に挙げ、フォーマットを作成する際のポイントを学習する (2) 相対参照と絶対参照【演習あり】 ・相対参照、絶対参照それぞれを用いた数式を作成する (3) 関数とは ・関数の書式を確認する ・実務で使用頻度の高い関数とその活用法や、関数のネストが必要になる処理を、作成する帳票の完成イメージを確認する 		
	2	関数の実務活用	5.0	
		<ul style="list-style-type: none"> (1) 条件によって処理を分ける関数【演習あり】 ・IF関数を使用し、条件を満たすか満たさないかで処理を分岐する数式を作成する (売上目標を達成しているかどうかを判定する) ・IF関数とAND/OR関数をネストし、複数の条件を満たすかどうかの判定を行う数式を作成する(複数の目標の一部/全てを達成しているかどうか判定する) (2) 該当するデータを検索し、結果を自動的に表示する関数【演習あり】 ・VLOOKUP関数を使用し、コードや番号を入力するだけで、参照用の表からデータを検索し、該当するデータを自動表示する数式を作成する (商品コードに対応する商品名や単価を自動表示する) ・IF関数とVLOOKUP関数をネストし、エラー表示を回避する数式を作成する (商品コードが未入力の状態でも、エラー値がでないようにする) (3) 条件に合うデータの合計/個数を求める関数【演習あり】 ・SUMIF関数を使用し、条件に合うデータの合計を求める数式を作成する (売上表の中から、該当する商品の売上合計を求める) ・COUNTIF関数を使用し、条件に合うデータの個数を求める数式を作成する (売上表の中から、該当する商品の売上件数を求める) (4) 端数処理をする関数【演習あり】 ・ROUND/ROUNDUP/ROUNDDOWN関数を使用し、数値の端数を処理する数式を作成する(金額の端数を処理する) (5) 日付を表示する関数【演習あり】 ・TODAY関数を使用し、今日の日付を表示する数式を作成する ・DATE関数を使用し、それぞれ違うセルに入っている年・月・日のデータを、1つのセルにまとめて日付を表示する数式を作成する ・TIME関数、HOUR関数、MINUTE関数、SECOND関数を使用し、時刻計算を行う数式を作成する (6) 文字列の一部を取り出す関数【演習あり】 ・LEFT/MID/RIGHT関数を使用し、文字データの一部を取り出す数式を作成する (商品コードから文字列の一部を取り出す) ・IF関数とLEFT/MID関数、LEN関数をネストし、条件に応じて取り出す文字数が変わる数式を作成する(住所から都道府県名/都道府県以降の文字列だけを取り出す) 		
			合計時間	6.0
	カリキュラム作成のポイント			
	業務で表計算ソフトを活用するために、関数の基本的な考え方を踏まえ、複数の関数を組み合わせて使う方法を紹介する。実務における活用例を挙げながら、データを効率よく正確に扱うポイントをおさえたカリキュラムとした。			
	備考			